

◆横芝剣友会少年部に

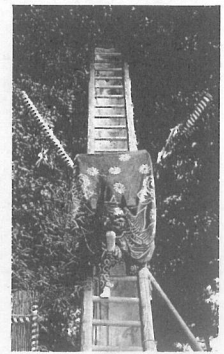
最高の荣誉◆



7月30日、日本武道館において行われた全日本剣道錬成大会開会式にて、横芝剣友会少年部が優良団体として全日本武道協議会（江崎真澄会長）より表彰されました。長年培った努力が実った晴れての荣誉でした。

中台風祭り

コミュニティ助成事業で
おみこしと太鼓を新調



8月28日、中台地区では虫害予防と豊作を祈願し、風祭りが行われました。
今年、「コミュニティ助成事業」で、「おみこしと太鼓を新調、地元の子どもや婦人会の方などが、円福寺から大宮神社までの間を威勢よくねり歩きました。」

また、大宮神社では、高さ約15メートル33段の大梯子の上で、獅子舞が演じられるなど、ふだん静寂とした境内も、この日は大勢の人で賑わいを見せていました。

読書の秋 —大きな声で本読みを—

さわやか子どもに拍手!!

社会教育指導員 伊藤はる



皆さん、大きな声で本を読んだことがありませんか。どんな気持ちになりましたか。私の心の中には、私が拍手を送っている明るく大きな声で本読みをする子どもが何人もいます。そうやって欲しいと願っています。大きな声で本を読むことの素晴らしいところは、読んだことの数えきれないほどたくさんあります。まず、慣れてくると、心がスカッとする事です。また、自分の声を自分で聞いて繰り返すのは、発音し、発声もきれいになることです。そして、文の感じがよく表現できるようになることです。つまり、表現力がつくという事です。初めの頃は、間違いがはつきりわかってしまっ

で繰り返して大きな声で読んでみると、恥ずかしさなんか乗り越える力がつくという事です。これは案外将来に役立つ大きな収穫ですよ。更に、大きな声で読むことを重ねていくと、話す力が養われ、聞く力もついてくるという事です。まだまだありますね。自分で読むだけでなく、まだ字の読めない子どもたちに絵本を読んであげる、お年寄りでも新聞など読みにくくなっていると

きに読んであげる、などなど。きっと喜んでいただけたと思います。さて、お母さん方、このよう

な子どもたちを拍手で歓迎した

ら、世代のみぞなんてふき飛んでしまい、思いやりと感謝の気持ちのあふれた、より楽しいステキな家庭づくりの一助になる

とは思いませんか。



新盆の飾りに囲まれ姑の遺影健やかな日のみ顔に笑めり
八角 三枝
手拭ひを鉢巻きにして棟梁は炎天の中軒板を張る
秋葉 とく
夕ぐれてまたの逢ふ日を約しつつ料亭いづれば主婦となる吾
掛川 友代
農道に割れてころがるガラス瓶拾ひ集めて持ち帰り来ぬ
鈴木 やす
夜更けまで建築現場に灯りつき作業する音間近に聞こゆ
秋葉 悦子
二階より飛ぶがに降り来し女の孫はよき香残して出勤しゆく
向後 房
俳人の友が染めくれし麻のれん家紋涼しく風に揺れるつ
土屋 栗水
桃色のかたまりとなる子豚等の中に黒きが一つ混じれり
宇井 ちい
しつかりと首を梯子に差し入れて獅子秋天に逆だちをせり
選者 斎藤つね子